



2012年3月期 第1四半期 決算概要

ルネサス エレクトロニクス株式会社

2011年8月2日

代表取締役社長 赤尾 泰

エグゼクティブ・サマリー

I. 2012年3月期 第1四半期 決算概要

- 震災の影響などにより半導体売上高が減少(前四半期比 Δ 26%)
- 特別損失として、災害による損失119億円を計上したことなどにより、当期純損益は332億円の赤字を計上

II. 2012年3月期 連結業績予想

- 第2四半期以降の売上回復などにより、下期には営業損益、当期純損益での黒字回復を見込む

I. 2012年3月期 第1四半期 決算概要

2012年3月期 第1四半期 決算概要

- 半導体売上高は、前四半期比26%減の1,840億円
- 営業損益は、売上高の減少などにより191億円の赤字

2011年3月期

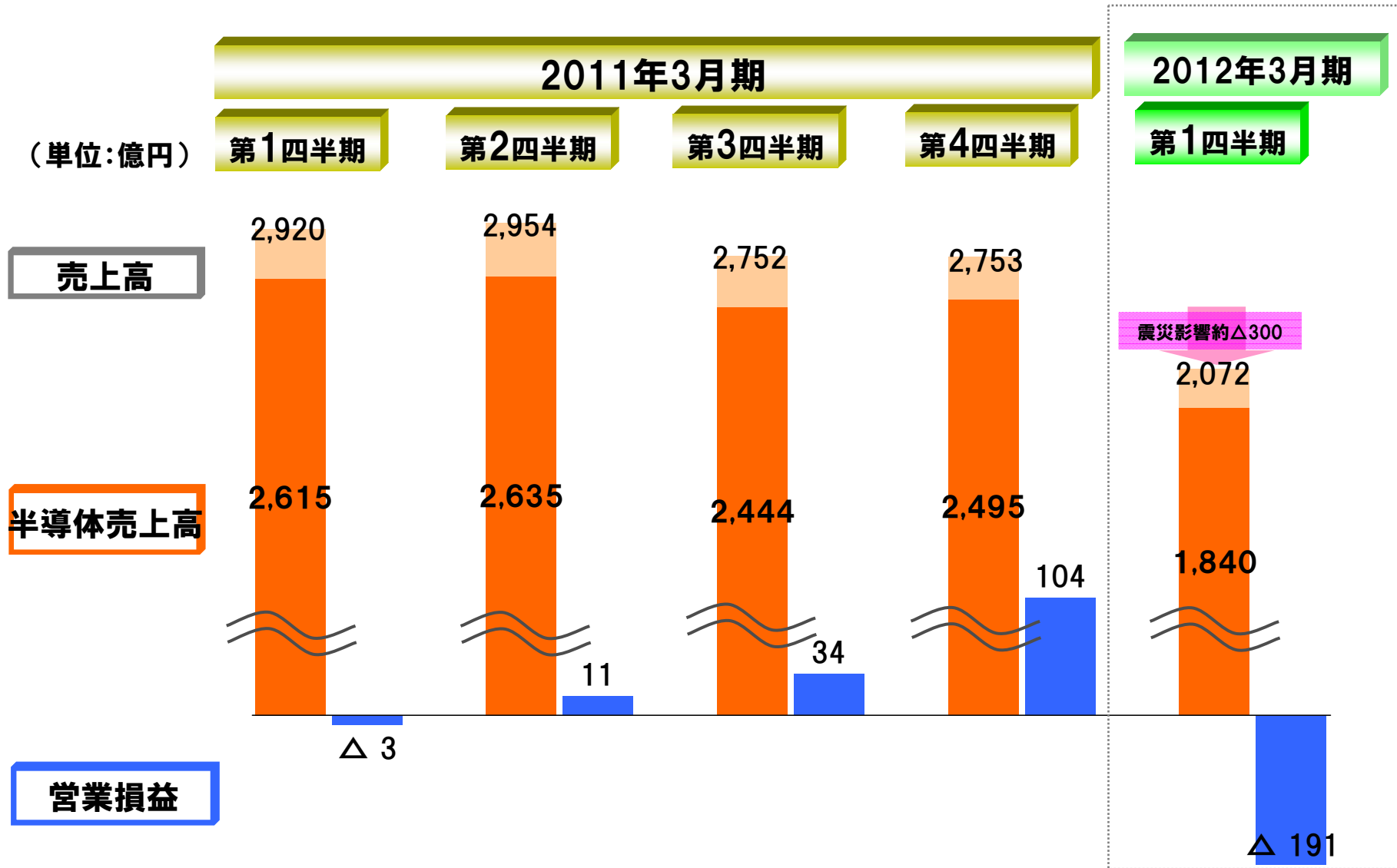
(単位:億円)

	第1四半期	第4四半期
売上高	2,920	2,753
半導体売上高	2,615	2,495
営業損益	△3	104
経常損益	△35	78
四半期純損益	△331	△562
1US\$=	92円	83円
1ユーロ=	121円	111円

2012年3月期

第1四半期	前期比 (%)	前四半期比 (%)
2,072	△848 (△29%)	△680 (△25%)
1,840	△774 (△30%)	△654 (△26%)
△191	△188	△295
△203	△167	△280
△332	△2	+230
82円	10円 円高	1円 円高
117円	4円 円高	6円 円安

四半期業績推移

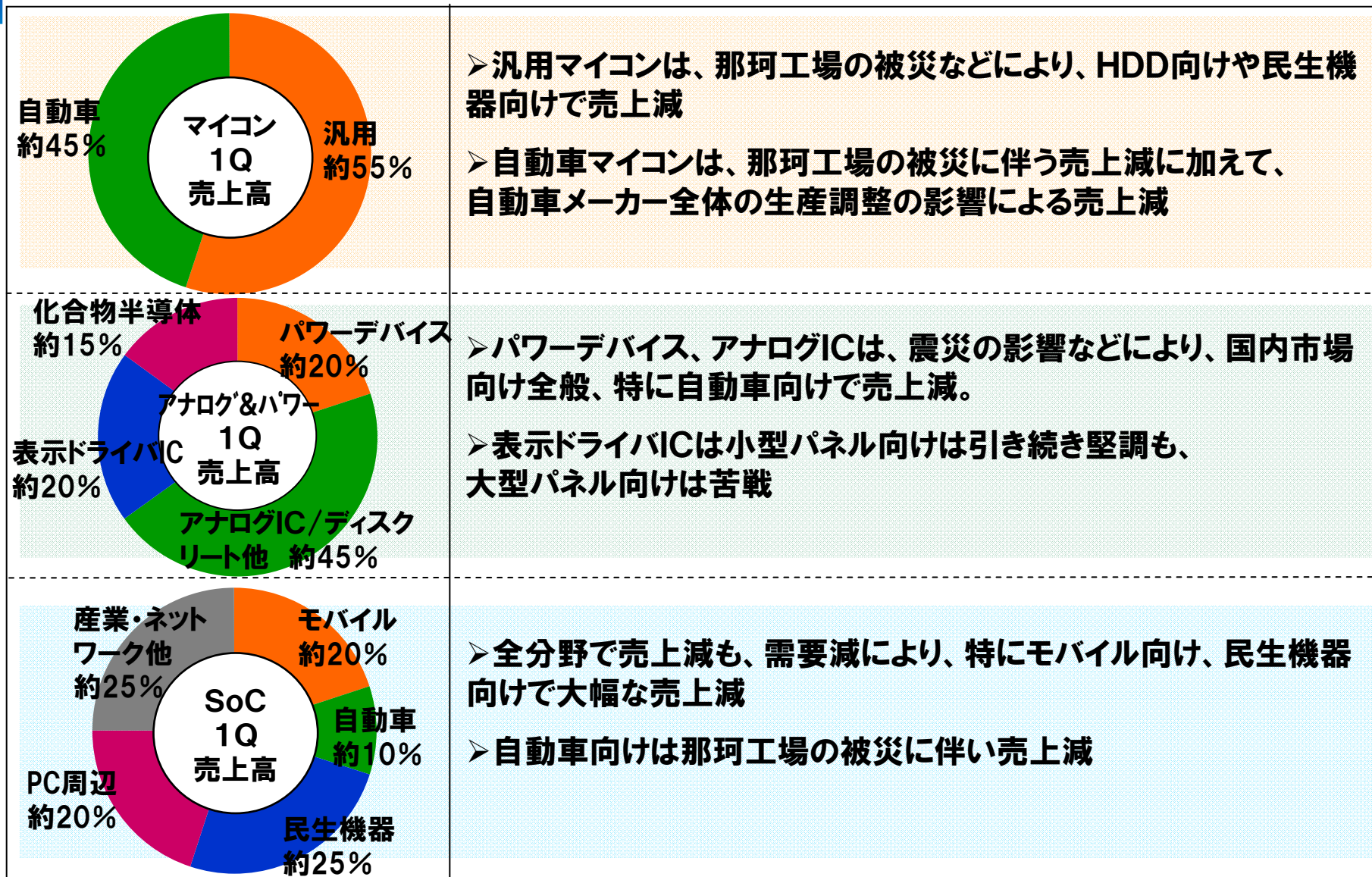


2012年3月期 第1四半期 半導体売上高の事業別状況①

- マイコンとアナログ&パワー半導体は、前四半期比20%弱の売上減
- SoCは、前四半期比44%の売上減と落ち込みが大きい

(単位:億円)	2011年3月期		2012年3月期		
	第1四半期	第4四半期	第1四半期	前期比 (%)	前四半期比 (%)
半導体売上高 計	2,615	2,495	1,840	△774 (△30%)	△654 (△26%)
マイコン	993	950	772	△221 (△22%)	△178 (△19%)
アナログ&パワー 半導体(A&P)	826	770	629	△198 (△24%)	△142 (△18%)
SoC	777	747	418	△359 (△46%)	△330 (△44%)
その他半導体	18	27	22	+4 (+19%)	△5 (△19%)

2012年3月期 第1四半期 半導体売上高の事業別状況②



バランスシートの状況

- 転換社債の償還(1,100億円、5/27)により、現金および現金同等物と有利子負債が大幅に減少

(単位:億円)	11/3末	11/6末
総資産	11,450	9,374
うち 現金および現金同等物	3,373	1,770
うち たな卸資産	1,234	1,345
負債合計	8,540	6,816
うち 有利子負債	3,782	2,665
株主資本	3,060	2,728
純資産合計	2,911	2,558
D/Eレシオ(グロス)	1.33倍	1.07倍
D/Eレシオ(ネット)	0.14倍	0.36倍
自己資本比率	24.8%	26.5%

(注)①現金および現金同等物:「現金および預金」と「有価証券」の単純合算値から「預入期間が3ヶ月を超える定期預金」を控除しております。
 ②有利子負債:「短期借入金」、「1年内返済予定の長期借入金」、「1年内償還予定の新株予約権付社債」、「リース債務」、「長期借入金」
 ③自己資本:「株主資本」、「その他の包括利益累計額」 ④D/Eレシオ(グロス):有利子負債/自己資本

キャッシュ・フローの状況

- 売上の減少に加えて、早期退職優遇制度の実施に伴う特別退職金の支払などにより、営業キャッシュ・フローが292億円の赤字

(単位：億円)	2011年3月期			2012年3月期
	第1四半期	第4四半期	通期	第1四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	△20	156	1,025	△292
投資活動による キャッシュ・フロー	△144	△240	△958	△148
フリー・ キャッシュ・フロー	△164	△84	67	△440

II. 2012年3月期 連結業績予想

2012年3月期 連結業績予想

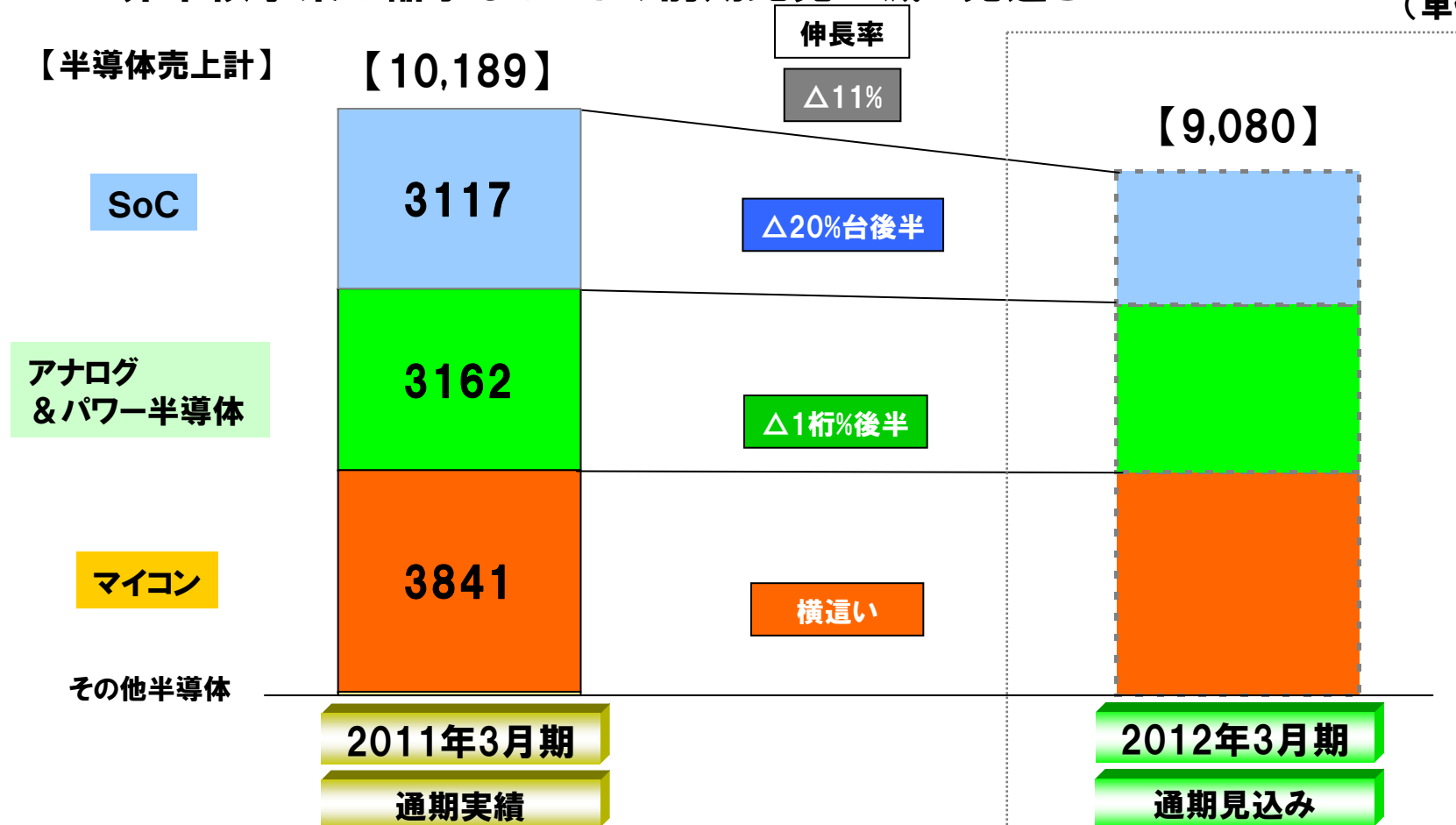
- 通期は、震災の影響などにより、前期比で半導体売上が約11%減少。営業損益も280億円の赤字を見込む
- 一方、震災からの早期回復により、下期には、前下期並みの売上まで回復し、営業損益、当期純損益での黒字回復を見込む

(単位:億円)	2011年3月期			2012年3月期			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	前期比
売上高	5,875	5,504	11,379	4,620	5,570	10,190	△1,189
半導体売上高	5,250	4,939	10,189	4,080	5,000	9,080	△1,109
営業損益	7	138	145	△350	70	△280	△425
経常損益	△78	88	10	△400	30	△370	△380
当期純損益	△412	△738	△1,150	△430	30	△400	+750
1US\$=	90円	83円	86円	82円			—
1ユーロ=	116円	112円	114円	110円			—

2012年3月期 通期 半導体売上高(対前期比)

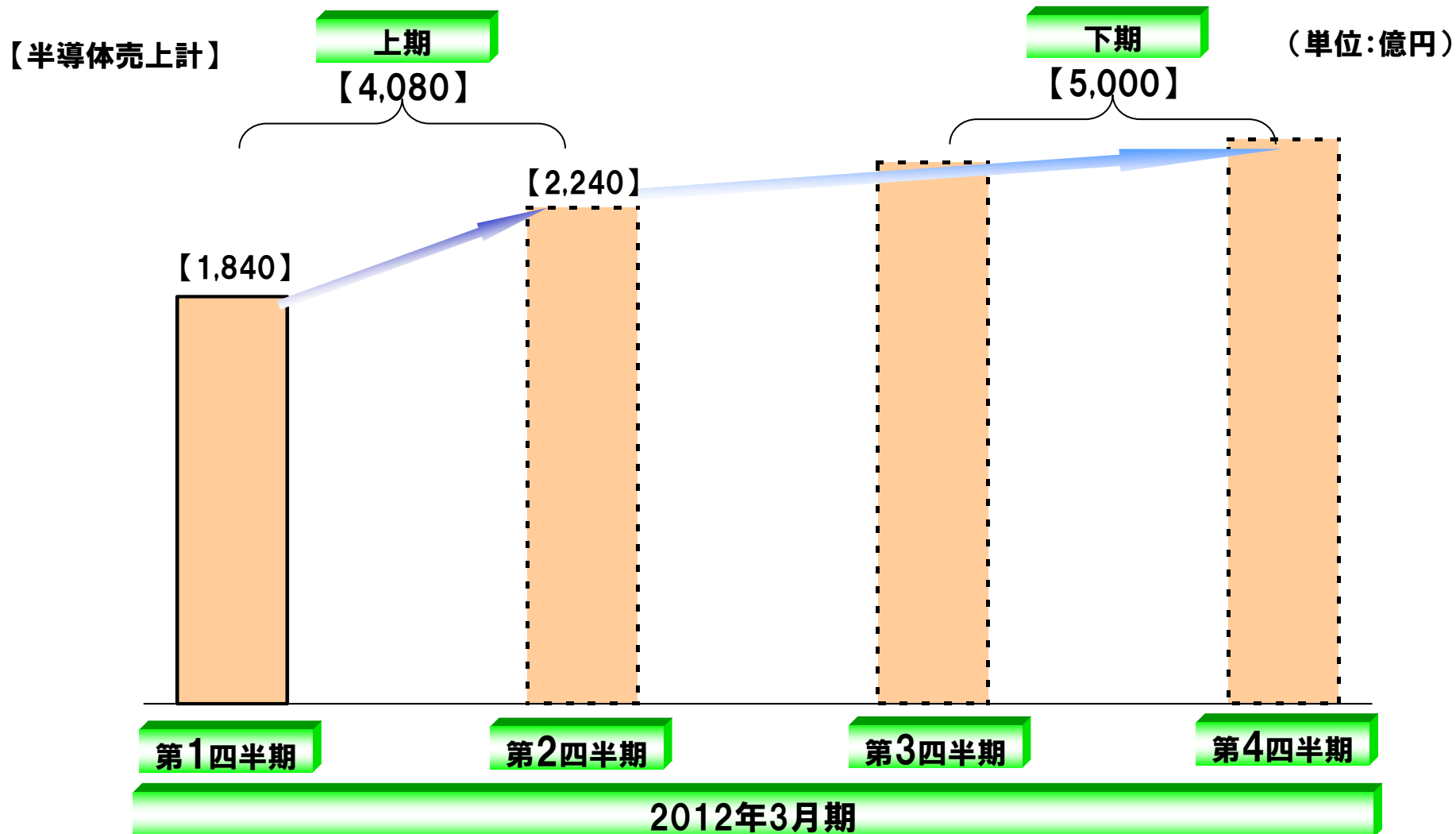
- マイコンについては、特に下期において自動車向けを中心に需要の回復を見込み、震災影響を乗り越え、通期ベースでは前期比横這いを見込む
- アナログ&パワー半導体、SoCについては、震災の影響による売上減に加えて、非中核事業の縮小などにより前期比売上減を見込む

(単位:億円)



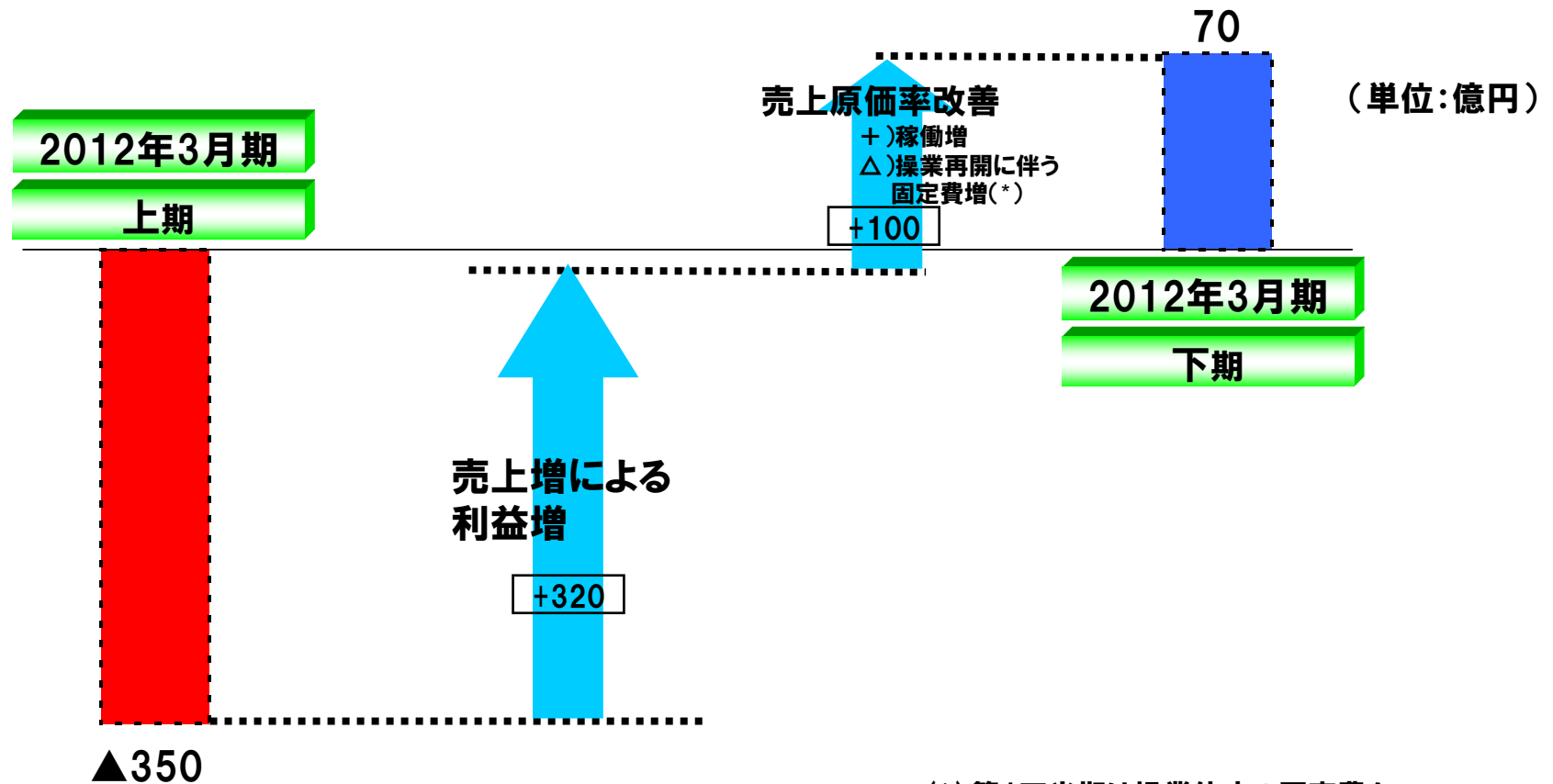
2012年3月期 四半期別 半導体売上見通し

- 震災からの早期復旧と下期の復興需要などにより、第2四半期以降、半導体売上は回復を見込む



2012年3月期 上期／下期 営業損益 見通し

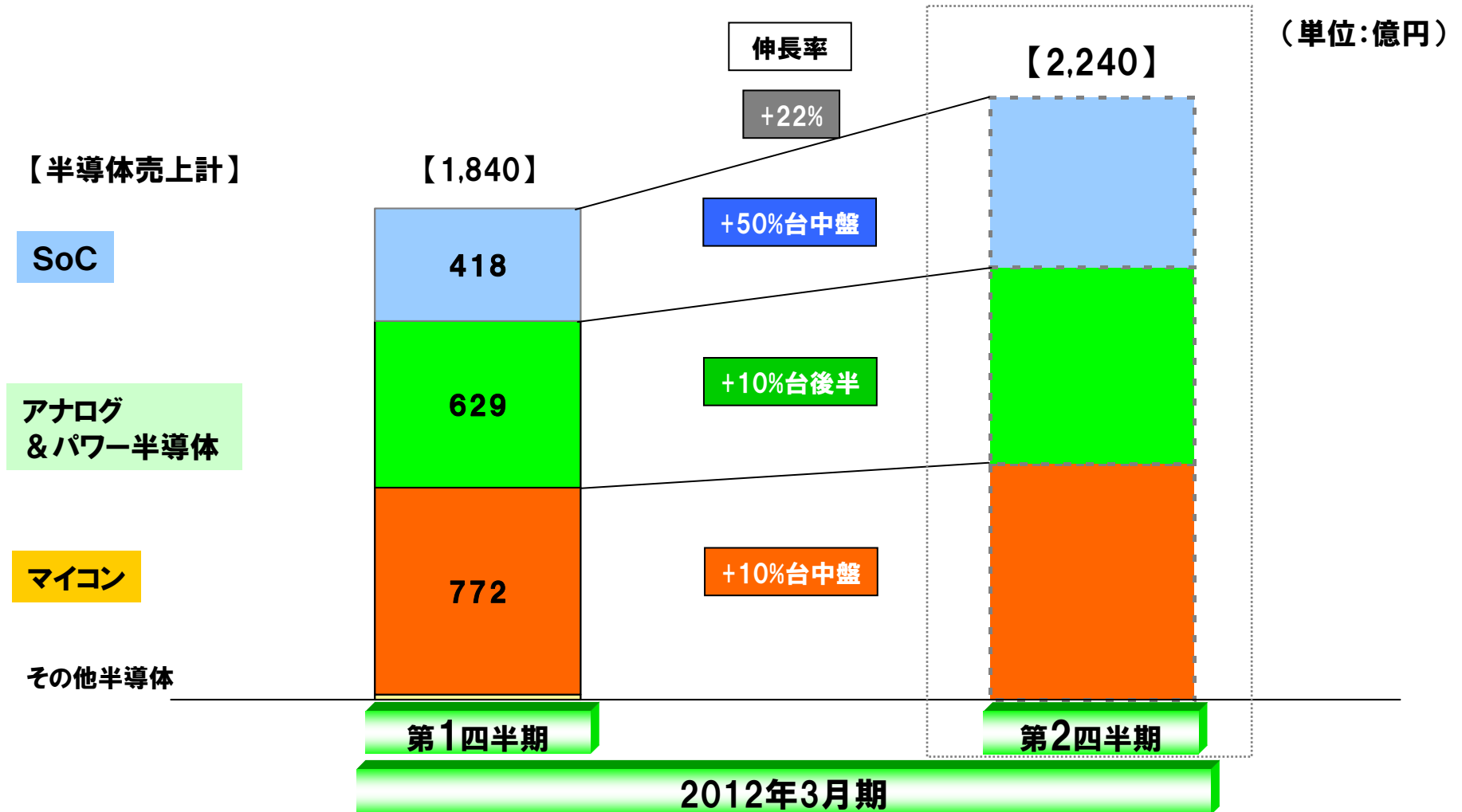
- 半導体売上高で上期比920億円増により、売上増による利益増を見込む
- 震災からの早期復旧や需要増により、第2四半期以降、生産稼働の改善を見込む



(*) 第1四半期は操業休止の固定費を特別損失に計上したため

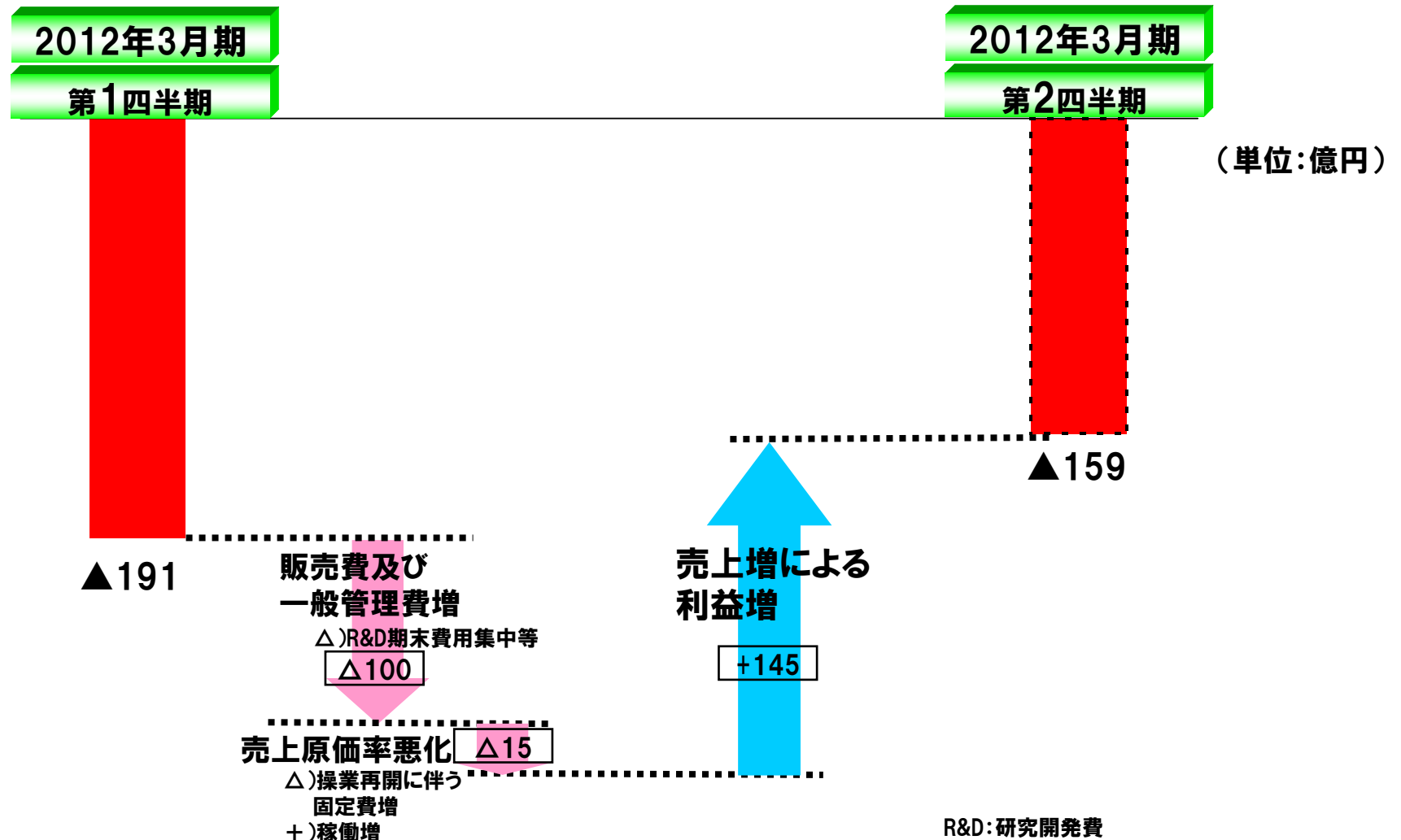
2012年3月期 第2四半期 半導体売上見通し(対前四半期比)

■ 震災からの早期復旧と需要増により、3事業とも前四半期比増収を見込む



2012年3月期 第2四半期 営業損益 見通し(対前四半期比)

- 第2四半期において期末集中による費用増などが見込まれるものの、売上増による利益増により、営業損益は第1四半期比改善を見込む



(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループ(以下、当社グループ)の計画、戦略および業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)当社グループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場における当社グループの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場において当社グループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

RENESAS

ルネサス エレクトロニクス株式会社

© 2011 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.